

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子供の育成」



遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～なかよく 明るく つよく正しく～

掃除の大切さを学ぶ

11月7日(金)、5年生と6年生が「ダスキン出前授業」を受けました。遷喬小では現在、大規模改修工事が進められており、これまでのじゅうたんの教室から、フローリングの教室へと少しずつ変わってきています。それに伴い、掃除の方法も、掃除機を中心としたやり方から、ほうきやぞうきんを使って丁寧に行う掃除になっています。

授業では、ダスキンの方から「なぜ掃除をするのか」という根本的な問いかけから始まり、掃除の目的を表す3つのキーワード「かいてき」「ながもち」「けんこう」を教えていただきました。また、ほうきの正しい持ち方や動かし方、ぞうきんの上手な絞り方、拭くときのコツなど、実際に体を動かしながら学ぶことができました。

今後は、縦割り班のリーダーとして、下級生に正しい掃除の方法を伝え、学校全体でよりよい環境づくりに取り組んでいきます。次回は4年生がこの出前授業を受ける予定です。



保こ小交流会

11月11日(火)、久世こども園・久世第2保育園・星のこども園の年長さんを招いて、1年生との交流会を行いました。1年生は生活科の学習で段ボールを使ってさまざまなおもちゃをつくり、「がっこうスマイルまつり」としてお店屋さんを開きました。くじ引きや的あて、魚釣りゲームなど、工夫をこらした手づくりのおもちゃが並び、年長さんたちは目を輝かせながら楽しんでいました。お店の人になった1年生も、やさしく案内したり遊び方を教えたりしていました。笑顔いっぱいの温かい時間となりました。



5年生 真庭市のバイオマス施設見学

5年生は、総合的な学習の一環で、CLT工場と真庭市くらしの循環センターを見学しました。見学に先立ち、講師の方をお招きして事前学習を行い、「バイオマス」とは何か、そして真庭市の産業にも関わりの深いCLT(直交集成板)木材の仕組みについて学びました。子供たちは、木を無駄なく使い、新しい形で再利用していく取り組みを知ることができました。

CLT工場では、木材の作り方や仕組みを紙芝居で分かりやすく教えていただきました。また、実際に触れることができました。続いて訪れたくらしの循環センターでは、家庭から出る生ごみなどをメタン発酵させ、資源として再生している仕組みを学びました。

今回の見学を通して、真庭市が「循環型社会」や「SDGs(持続可能な開発目標)」の実現に向けてさまざまな取り組みを行っていることを実感することができました。子供たちは、自分たちの生活の中でも環境に配慮した行動を考えるきっかけを得ることができ、ふるさと真庭のよさと誇りを感じる学びとなりました。



全国学校給食甲子園 ～岡山県代表～

本校の給食を作っている遷喬学校給食共同調理場の献立を第20回全国学校給食甲子園に西村栄養教諭が応募しました。その結果、全国1019件の献立の中から岡山県代表に選ばれ、中国地区の審査にも進出するといううれしい知らせが届きました。

遷喬学校給食共同調理場では、真庭市でとれた野菜やお米などの地元の食材をたくさん使い、「地産地消」と「栄養バランス」を大切に献立づくりをしています。

私たちが毎日食べている給食は、栄養教諭や調理員さんのたくさんの努力や思いが詰まっています。全国の中で評価されたということは、地域の食材と調理場の皆さんの力が認められたということです。岡山県を代表する給食を食べることができていることに感謝です。

